

# まちがいさがし クイズ

## 問題

上下の絵を見くらべて、  
まちがいを8カ所見つけてください。



### 応募方法

ハガキまたはファクスに、答え(左の絵に○をつける)と住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を書いて応募してください。

なお、当選者のお名前を広報がまごおり8月号に掲載しますので、ご了承ください。

### 送り先

〒443-8601 旭町17番1号  
企画広報課「クイズ」係  
FAX66♦1190

### 応募締切

6月17日(木)当日消印有効

### プレゼント

全問正解された方のうち、抽選で10の方にクオカードもしくはユトリーナバーデゾーン無料利用券をプレゼントします。なお、賞品は8月初旬に郵送します。

## 「身がわり地蔵」(塩津地区)

むかし、拾石川のほとりに木でつくられたポロポロのお地蔵様が立っていた。周りには草がおいしげついでどこにお地蔵様があるか分からないほどで、お参りする人もほとんどいなくなっていました。

ところが、いつのころからか、このお地蔵様に毎日お参りしているお嫁さんがいた。このお嫁さんはとりの太田浜から拾石村に嫁いできたばかりだった。気だてがよく、親や兄弟を大切にすると評判だった。

ある時、嫁さんは草ぼうぼうの中に立っているお地蔵様を見つけると気の毒になり、周りの草をむしってきれいにした。それから毎日やってきてはお参りを続けるようになった。

ある晩のこと、嫁さんの夢の中にお地蔵様が現れて「今夜、亥の刻(午前10時ごろ)に必ず津波がおこる。わしは幸い木でできている。お前たちを助けてあげよう」とおっしゃって、嫁さんはびっくりして飛び起きた。あわてて家族を起こし避難させると一安心したが、その時ざいしょの両親たちのことを思い出した。そして、太田浜まで懸命にかけて行った。突然夜中に起こされて津波が来ると聞かされた両親と弟はびっくりした。3人は嫁さんの言うとおりにお地蔵様の方向へ夢中でかけて行った。

間もなく大地がぐらぐらと揺れ、大地震がおきた。つづいてゴォーという不気味な音と、大きな津波が次々と押しよせて、海岸の家はあっという間に津波にのみこまれてしまった。

砂浜にはたくさんの人々が打ち上げられ、その中にはまだかすかに息をしている嫁さんと両親と弟の4人がいた。4人の手にはポロポロの木ぎれがしっかりと握られていた。4人はわずかに生き残った村人たちの手あついで介抱によって元気になった。驚いたことには4人が抱えていた木ぎれをつなぎ合わせると、お地蔵様の姿になった。

この事があってから、村人たちは早速立派なお地蔵様を石でつくり、もった場所へ奉った。やがて、だれがいうともなしにそのお地蔵様のことを、身がわり地蔵と呼ぶようになった。

4月号広報に掲載した「クイズまちがいさがしスペシャル」の当選者と解答は25ページに掲載しています。